

第7回全国高等学校情報教育研究会全国大会(埼玉大会)

大会事務局長 埼玉県立川越南高等学校 春日井 優

1. はじめに

第7回全国高等学校情報教育研究会全国大会(埼玉大会)が、東洋大学川越キャンパスを会場に、平成26年8月12日(火)、13日(水)の2日間で開催されました。今大会には295名の参加がありました。

2. 大会概要

【テーマ】輝く未来を創る情報教育

～新しいメディアへアプローチ～

【日時】平成26年8月12日(火) 13:00～

8月13日(水) 15:30

【会場】東洋大学 川越キャンパス

【主催】全国高等学校情報教育研究会

【共催】埼玉県高等学校情報教育研究会

【プログラム】

開会行事

基調講演

ライトニングトーク

ポスターセッション・協賛展示

教育懇談会

分科会・若手分科会

講評・講演

閉会行事

3. 大会の様子

(1) 基調講演

『輝く未来を創るセルフ・イノベーション』という演題で、前刀禎明氏(株式会社リアルディア代表取締役社長/元アップル米国本社副社長兼日本法人代表取締役)の講演が行われました(写真1)。

主な内容は、企業が求めている人材について、自律型社員・困難に打ち勝つ人材であること。「感じる」「創る」「動かす」といった多重知性が求められ、「期待超越度」や「価値の再定義」により、未来予測ではなく未来創造が重要であること。自信を持つためにはロジカルシンキングが重要であること。思考停止にならず、素直な感性を持ち創造的知性が必要とされること。そのためには、正解を求めず、感じ、変化を見逃さない洞察力を持つこと。

「変わらないを変えよう」という言葉が印象的でした。

(2) ライトニングトーク

昨年度に引き続き、ライトニングトークが行われ、2日目に行われる分科会発表の紹介や、今回の開催地の埼玉及び次回の開催地の宮崎の紹介が行われました。

機器の接続のトラブルやライトニングトークに参加する経緯なども交えながら、ライブ感覚での発表が参加者にも好評でした。



写真1 基調講演の様子

(3) ポスターセッション・協賛展示

ポスターセッションでは全19本の発表が行われました(表1)。実物の展示, 授業を模した発表など, さまざまな工夫がされている発表でした。

同じ時間帯で協賛企業による17の企業・団体の展示も行われ, 教材や教具など授業内容や授業環境を検討する上で参考となるものでした。

(4) 分科会

「問題解決」, 「教材の紹介・教材の開発」, 「実践と提案」, 「実践事例・情報モラル」の4分科会に分かれて発表が行われ, 計31件の発表がありました(表2)。

今回の大会では午後にも発表時間が設けられたことにより, 最大8本の発表に参加できるようになりました。

「情報の科学」を選択している学校の比率が低いにも関わらず, 情報の科学的な理解に関連する発表にも参加者が多く集まっていたことが意外な感じでしたが, 「情報の科学」の指導についての関心を持たれていることがうかがえました。

(5) 若手分科会

関東近郊の埼玉・東京・神奈川・千葉・茨城と, 情報科教員採用数が多い大阪の研究会・部会や教育センターから推薦された10名の情報科採用の先生方に登壇していただき, 日頃の実践の成果の発表が行われました(写真2・表3)。参加者

の関心も高く, 発表を聞く参加者数は他の分科会と遜色がない人数が集まりました。また, 発表内容には先進的な取り組みの発表も多く, 今後の情報科の発展に期待が持てるものでした。

(6) 講評・講演

大会最後に, 講評・講演として文部科学省初等中等教育局の永井克昇視学官から2日間の講評と, 「本気で取り組む情報教育～正しい理解と適切な実施」という演題での講演をいただきました(写真3)。

共通教科情報科の適切な実施に向けた指導を目指してほしいとの講評をされました。

また, 次期学習指導要領の編成に向けた中央教育審議会のタイムスケジュールを示され, 情報科の実践をさらに積み上げることにより, 現場から情報科の重要性を示すことも求められました。

4. おわりに

今回の全国大会は, 平成27年8月10日(月)・11日(火)に宮崎公立大学で行われる予定です。皆さまには発表者となることも含めて参加いただき, 大会を盛り上げて, 宮崎大会を成功に導いていただけると幸いです。

最後に, この場をお借りして, 今大会が成功したことを参加者および関係者の皆さまに御礼申し上げます。



写真2 若手分科会の様子



写真3 永井視学官の講演の様子

表1 ポスターセッション発表

- 1) ワークショップの紹介
- 2) 知財教育の高大連携
- 3) レトロPCは情報教育の夢をみるか
- 4) 情報モラルに関する映像教材と、その活用例
- 5) 情報モラル絵本のテーマの変遷について
- 6) コミュニケーション力を育てる情報科の授業
- 7) データで見る高校生のコンピュータ活用
～10年間の変遷
- 8) 協働学習システムを作成してみました。
- 9) 3次元コンピュータグラフィックスの基礎・基本を
学ぶ実習教材の利用と課題
—Python Computer Graphics Kit—
- 10) 仮想化ソフトウェアによる個人サーバを利用した授
業の提案
- 11) 「二軸法図解を用いた情報の整理と分析」の授業実
践報告
- 12) 基礎情報学の定着を測る定期考査
- 13) 大学情報入試全国模擬試験
- 14) Windows RTでデスクトップアプリを使うための処
理システム
- 15) 教職課程の学生によるICT教材作成の実践報告と効
果
- 16) タブレットが可能にしたことと、次なる活用法につ
いて
- 17) 消費者教育を『情報』の授業で実践する。
—教科の連携を意識した授業とは—
- 18) 情報活用の実践力を養うコミュニケーションワーク
教材
- 19) Microsoft OneDriveを活用した教材の共有と提示

表2 分科会発表

- | |
|--|
| <p>第1分科会 「問題解決」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教科「情報」での進路学習 2) 図書室を利用したデータベース学習 3) iBooks Authorを使って研究旅行の学びを電子書籍
化する 4) コミュニケーション能力を養う「情報」 5) 自給自足の情報モラル教育（問題解決型情報モラル
指導） 6) 「グループで行う問題解決」実践報告 7) 「水の分配」教材を使った問題解決学習の授業実践 8) 簡易な統計グラフポスターの制作を通した問題解決
の指導 |
| <p>第2分科会 「教材の紹介」「教材の開発」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報の科学、やりませんか？ 2) シミュレーション、今更ながらモンテカルロ法（1
次元～4次元球まで） 3) 10年目のHTML 4) ユーザインタフェースからの展開 5) ブレッドボードとICを使った簡易教材で学ぶ論理
回路の仕組み 6) 学校設定科目DTMにおける指導の実際と可能性 7) 協調的な学びを促進するタブレットPC向けデジタ
ル教材の開発 |

第3分科会 「実践と提案」

- 1) 情報を批判的に読み解き、自分の考えを再構築する
学習の方策を探る
- 2) 学習意欲を高める題材により、思考力、判断力、表
現力の育成
- 3) アクティブラーニングに向けた高校の実践からの提
案
- 4) 横浜サイエンスフロンティア高校における情報教育
の実践報告
- 5) 基礎情報学で情報教育を刷新する
—SGHアソシエイト校での実践から—
- 6) 「情報」を大学受験教科にするために高校側ができ
ること
- 7) 知的教育の高大連携
- 8) 高大の教員で共に作り上げる高大連携授業

第4分科会 「実践事例」「情報モラル」

- 1) 平成26年度情報科導入テスト実施報告
- 2) 「社会と情報」の授業を変えよう
- 3) プレゼンテーションとWebサイト作成の指導例
- 4) 1時間でできる情報モラル教育
- 5) 不適切な投稿問題からの情報モラル授業
- 6) LINE等のソーシャルメディアに関する指導につい
て
- 7) ネットを賢く使おう！！高校生の取り組み
- 8) モラルジレンマを活用した著作権教育の実践

表3 若手分科会発表

- 1) コミュニケーションを意識した教科「情報」の授業
実践
- 2) コミュニケーションを重視した情報モラルの授業
- 3) 2進数の指導について
- 4) 2学期授業の取り組み『情報の収集から発信まで』
について
- 5) Evernoteを用いた授業の実践の紹介
- 6) 情報Aから「社会と情報」へ
—これまでの実践記録とこれからの展望—
- 7) ジグゾー法を用いた授業実践例の紹介
- 8) レポートのアクティブラーニング実践
- 9) 発表を評価するには
- 10) 相互評価と意見交換による科学的素養育成の実践